

N-NOSE よくある質問

▼人間ドックや他のがん検査(腫瘍マーカー)との違いは何ですか。

- ⇒愛三健保で補助対象の人間ドックのがん検査は6種類(肺・胃・大腸・乳・子宮頸・前立腺)です。一方、N-NOSEは23種類のがんに線虫が反応することが分かっていますが、がん種の特定ができない点と、あくまでもり患リスク判定なので、り患が確定する検査ではない点が異なります。
- 腫瘍マーカーはステージが0、1の時など、早期がんの発見には効力が発揮しにくいと言われていますが、N-NOSEは低いステージでも下記の感度で検知が可能と言われています。(臨床研究)
- ◆感度(がん患者をがんと判定する確率) …86.3% ≡偽陰性13.7%
 - ◆特異度(健康な人を健康と判定する確率)…90% ≡擬陽性10%

▼検査結果で高リスクとなった時はどうしたらいいか、どういうサポート体制があるか。

- ⇒高リスク者のみが対象でした、「安心アフターサービス」から、受検いただいた全ての方に向けて、「いつでもあんしんQ&A集」が新設されました。
- 検査結果に関するご質問や不明点について、こちらで詳しくご案内し、いつでも気軽にご確認いただける仕組みです。結果報告書の中に記載されているQRコードからアクセスしてください。

▼この検査で高リスクが出たとしても、健康相談室や産業医に伝える必要はないか。

- ⇒個別検査結果はご本人のみに通知され、健保や会社に情報が伝わる事はありません。

▼高リスク時、全身がん検査(PET-CT、DWIBS(ドゥイブス)等)を行なう際、健康保険適用になるか。

- ⇒上記の全身のがん検査や個別のがん検査、腫瘍マーカー等は自費診療になります。それらの検査で異常箇所が見つかり、医師の判断によっては、その後の検査が保険適用になる場合があります。特に疑わしい部位がない場合は自費診療です(健保補助はありません)。
- ※人間ドックは健保の募集期間での申し込いただければ健保補助があります

▼A～Eの判定の割合はどれくらいか。

- ⇒24年度にN-NOSEを受験した方の比率は下記の通りです。(個別の結果は把握していません)

	A	B	C	D	E
愛三健保	36.5%	46.2%	14.9%	1.6%	0.8%
(参考)全体	35.3%	45.5%	14.9%	3.6%	0.7%

▼人間ドック先と一緒に検査することはできないか。

- ⇒医療機関の追加オプション等で用意されていれば実施できますが、その場合は健保補助の対象外になります。

N-NOSEのホームページ上でも様々なQ&Aが掲載されていますので、そちらもご参考になしてください。

<https://n-nose.viewer.kintoneapp.com/public/faqsite>

※一般向けサイトのため、法人向けと一部異なる点もありますがご了承ください

